

農の架け橋 地域と共に

— 白子町農業委員会だより NO. 20 —



令和元年6月
編集・発行/
白子町農業委員会

農業委員及び農地利用最適化推進委員を皆さんに紹介します。

農業は、3つの力 とても魅力が詰まった職業…

白子町関 大多和 正 夫 さん（農業委員会 副会長）

緑色が一面に広がる春葱の畑に入った。春の柔らかな陽ざしと葱独特の香りがとても心地よい。

「先週、田植えが終わったばかりだけど、葱はこれからワケ葱、夏葱と続くから、疲れたなんて言ってもらえないね。」軽快な口調で話す大多和さん。地元農協に38年勤め上げた後、本格的に農業に取り組み、現在、水稲7.0ha 長葱を中心とした露地野菜1.6haを、高校時代からの友人 大木さんと取り組んでおり、さらに、妻喜和子さんも、この3月に退職し農業に加わり、営農体制はより万全となった。

「農業は、技術力、労働力、そして経営力 すべての要素が必要とされる仕事であり、また、個々の裁量で様々な経営が可能で、とても魅力が詰まった職業だと思う。私も自分なりの目標を立て、それに向けて取り組みを進めているが、作物の成長する過程を観察するのが、今の一番の楽しみ。自然と働いている時間も長くなってしまふけどね。」と笑う。

農業委員としての抱負について聞いたところ、
「まずは、遊休農地の有効利用に取り組みたい。また、農地集積・集約については、現在の担い手への取組みを積極的に行いながら、さらに10年～15年後の町の農地の在り方を考えていく必要がある。私のような定年帰農者や農業に興味を抱く人たちを積極的に活用する仕組みづくり等を委員会で検討していきたい。私が農協時代に学んだものが、少しでも役に立ていければと思う。」と語る。

また、大多和さんは、農業委員会副会長を務めるとともに、白子町露地野菜出荷組合長の重責も担っており、「町内の皆さんに長葱栽培の魅力を伝え、長葱生産者及び栽培面積の拡大を図っていきたい。それが遊休農地の解消に役立てればいいかな。」と語る眼差しは、町農業のこれからを見つめていました



【大地の恵みを吸収した春葱】



【トラクターで春葱を収穫する大多和さん】

○ **農業者年金で生活の安定を考えましょう。**

○ **こんなにかかる老後生活 【現金支出で年額 約286万円】**

高齢農家世帯(世帯主が65歳以上の夫婦2人)家計費は、現金支出で月額23万~24万円が必要です。

○ **国民年金の支給額は？ サラリーマンの年金は？**

国民年金は、月々約6万5千円(40年加入の場合)夫婦あわせて月額約13万円です。

厚生年金のモデルケースでは、夫婦あわせて月額約22万1千円です。

○ **日本は、世界でも有数の長寿国 【65歳の平均寿命は 男性19年(84歳) 女性24年(89歳)】**

老後はお金の心配をせずに暮らしたい。しかし、予想不可能な経済変動や思わぬケガ・病気もあります。

サラリーマンは、厚生年金や共済年金で、国民年金(基礎年金)への上乗せがあります。農業者は、豊かな老後の生活のためには、国民年金だけでは十分とは言えず、老後の生活費は自分で準備する必要があります。農業者の皆様も、メリットがたくさんある農業者年金に加入して安心して豊かな老後を迎えましょう。

～ **農業者年金** は、農家のことを知りつくした「**農家のための年金**」です。～

○ **農業者年金の特徴とメリット**

- 農業者の方なら広く加入できる
- 積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い
- 保険料の額(月額2万円~6万7千円)は自由に決められる
- 終身保険。80歳前に亡くられた場合は死亡一時金がある
- 税制面の優遇措置がある
- 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある

○ **農業者年金の支給額の試算**

加入年齢	納付期間	保険料 納付総額	年金額(年額)		平均余命までの受給総額	
			男性	女性	男性	女性
20歳	40年	960万円	77万円	65万円	1,645万円	1,742万円
30歳	30年	720万円	51万円	43万円	1,092万円	1,156万円
40歳	20年	480万円	30万円	25万円	646万円	684万円
50歳	10年	240万円	13万円	11万円	288万円	305万円

※上のケースは、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.35%となった場合の試算です。受取総額は65歳での農業者年金加入者の平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92歳まで生存した場合の金額です。

※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の15年間(平成28年度まで)の運用利回りの平均は、年率2.77%です。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、平成30年度は0.35%となっています。

※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

○ **農業者の老後の生活の収入は、国民年金+農業者年金が基本。**

国民年金の支給額は月額最高6万5千円、夫婦お二人で約13万円です。一方、高齢農家の家計費は夫婦お二人で23万~24万円が必要です。➡ 国民年金の不足分をしっかりとカバーします。

65歳~87歳の年金額(夫婦)

88歳~92歳の年金額(妻のみ)

[ケース1] 農業者年金に 夫のみ加入	国民年金 夫 月額6万5千円 妻 月額6万5千円 計 月額13万円	国民年金 妻 月額6万5千円
	農業者年金 夫 月額4万2千円	農業者年金 なし
合計：月額 17万2千円		合計：月額 6万5千円
[ケース2] 農業者年金に 夫婦で加入	国民年金 夫 月額6万5千円 妻 月額6万5千円 計 月額13万円	国民年金 妻 月額6万5千円
	農業者年金 夫 月額4万2千円 妻 月額3万6千円 計 月額7万8千円	農業者年金 妻 月額3万6千円
合計：月額 20万8千円		合計：月額 10万1千円

※農業者年金の試算については、65歳までの運用利回り2.5%、65歳以降の予定利率は0.35%として行っています。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、平成30年度は0.35%となっています。

※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。